



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報



ロータリー理解推進月間

第726回 平成14年 1月30日(水)

〔本日のプログラム〕

2001~2002年度 国際ロータリーのテーマ

- | | |
|-------------|---|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ロータリーソング | |
| 「奉仕の理想」 | |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 点 | 鐘 |

次回予告

- ★ 2月6日(水)
世界理解プログラム
2月セレモニー

- ★ 2月13日(水)
夜間例会
ローターアクト
フォーラム

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	吉田康一郎
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	宮原 建樹
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17	幹事	岩下 廣美
	☎880-0212	会計	垂水 敏雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

第725回例会記録

(2002. 1. 23)

☆会長の時間

会長 吉田 康一郎 君

皆様今日は。本日は第725回の例会でございます。

始めにビジターのご紹介を致します。西都RCよりお越しの綾部 誠君です。ようこそ！いらっしゃいました。

先週は社会奉仕賞の贈呈式、インドからの有史以来の外国のメーカーをお迎えしたりと大変忙しい例会でございましたが、私にとっては充実した日で思い出に残る例会になる事と思います。

皆様もご覧になったと思いますが、早速、18日(金)の宮崎日々新聞に当クラブの社会奉仕賞贈呈式の記事が掲載されました。社会奉仕委員長の中武幹雄君、この度は大変ご苦労様でございました。この賞を決めるまでの、各方面へのご配慮、自分のお忙しい仕事の合間を縫っての御活動

は中武君のロータリーに対する熱意を感じた次第でございます。改めてこの席でお疲れさま、と労をねぎらいたと思います。

先日、所用の為、鹿児島に宮崎の方や東京の方と一泊で行ったのですが、宮崎から一緒に行かれた方が、隣の県なのに何故こうも人の流れ、車の流れ、そして活気が違うのだろうか、としきりに言っておられました。確かに車の流れ、商店街等での若い人の多さ、等々宮崎と断然違います。どうすればあの賑やかさへ近づけるのでしょうか。

何とかしたいものです。

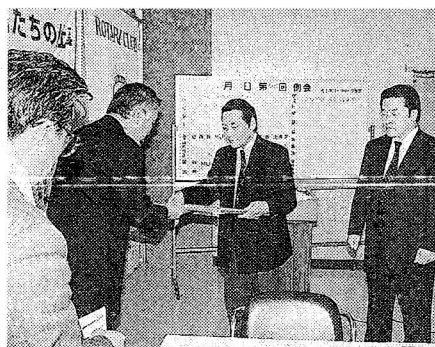
活性化がなければ、ロータリーの会員増強も中々果たし得ないことであります。

私は良く宮崎の活性化の話を致しますが、申すまでもありません、我が郷土、愛する宮崎だからであります。

益々、市内は空き店舗が多くなっているようです。もう一度あの賑わいを取り戻す事を祈りたいものです。



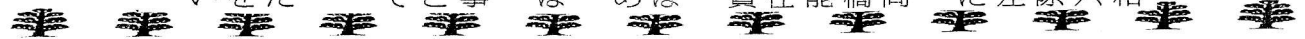
吉田会長から賞状を受ける
橋口寛参与(右から2人目)



橋口さんは「指導を始め、子供の事故は一件もない。車関係の仕事をする立場として率先してすべきこと。これからも、続けていきたい」と決意を新たにしていた。

ホンドダロックが
社会奉仕賞受賞
佐土原RCから
佐土原町下那珂、ホン
ダロック(福永健社長)
は十六日、会社全体で取
り組んでいる早朝の交通
指導が評価され、佐土原
ロータリークラブ(吉田
康一郎会長)から社会奉
仕賞を受けた。

同社は一九八七(昭和
六十二)年から、社員六
十八人が交代で休日を除
く毎日、本社近辺の交差
点で通学児童、生徒らに
交通指導している。
賞状授与式は同日、同
町の石崎浜荘であり、橋
口寛総務部参与(五九)と能
勢敦雄生産技術部主任
技師(五五)に吉田会長が賞
状と記念品を贈った。



☆幹事報告

幹事代理 田村勝二君

例会変更および休会通知

1. 1月30日(水)の例会は「教育フォーラム2002」のため、2月2日(土)

時間 13:00~14:00

場所 小林市文化会館 に変更
小林 RC

2. 宮崎RC I.M. 実行委員会よりI・Mの実施について、下記の通りお知らせが来ております。

記

開催日時 平成14年3月10日(日)
開催場所 JA・AZM ホール
登録料 2,500円(全会員登録)
齎出席者 会長、副会長、幹事、新世代、クラブ奉仕、社会奉仕、会員増強、ロータリー財団、米山奨学、その他関連委員会各委員長及び入会2年未満の会員

分科会テーマ

第1分科会

『どうしたら増える！
ロータリーの仲間』

第2分科会

『地域社会は今、ロータリアンをどうみているか』

全員登録になっております。I・Mはロータリアンの意識高揚のための勉強会です。出席方よろしくお願い致します。

☆出席報告

委員長 太田忍君

会員数 29名
例会出席者 23名
出席率 79%
メイクアップ者数 2名
修正出席率 86%
欠席者名 神宮寺、赤木、村岡、後藤、鬼塚

7月~12月上半期の無欠席者名

福井輝文君 正岡文郁君
梶田與之助君 田村勝二君
吉田康一郎君 中武幹雄君
岩下廣美君 堀口英秋君
垂水敏雄君 濱田松太郎君

以上10名の方々です。ご報告致します。ご努力に対して、皆様に拍手をおねがいいたします。

☆社会奉仕委員会

委員長 中武幹雄君

先週、ようやく社会奉仕賞の贈呈式を皆様のご協力が無事、終えることが出来ました。ありがとうございました。後半であと一つの行事(交通安全運動)が残っておりますが、これについても何卒、皆様のご協力をお願いいたします。



Happy Voice

誕生のお祝いを頂きまして、有り難うございました。大切にに使わせていただきます。

岩切 文代

☆情報委員会

委員長 林 厚 雄 君

ロータリアンの心構え

ロータリーについてポールハリスが言った言葉です。

【ロータリーとは何か、百人が百種類の答えをしていますが、ロータリーが何かと言うよりもロータリーは何をしているかを語る方が簡単です。】

ロータリーの奉仕は、例会やクラブ活動を通じて、地域社会を代表する職業人達が、職業観と人生観をお互いに披露し合い、その付き合いの中で各会員がロータリアンとしての心を磨き合い、その地域で社会生活を営むことにより、ロータリーの心、つまり相手の立場に立って行動する思いやりの心を家庭や職場に及ぼそうとするものです。

従ってロータリーの奉仕とは本来の一般的な奉仕です。（これがロータリー発足当時の定義であったと思います。）

しかし、ロータリーの設立後に金銭的奉仕のみに徹する社会奉仕クラブが現れるに及んでロータリーの奉仕をそれと画然と分ける為に、一般的奉仕のことを職業奉仕と呼んだのです。

それゆえにロータリーの奉仕とは端的に職業奉仕を意味するものです。

そして、職業奉仕はクラブ活動の裏付けのもとに成り立つものです。

このようにロータリーの奉仕は職業奉仕から生まれ、ロータリアンのそれぞれの職場を基礎にして、社会奉仕、青少年奉仕と成長し、更に国際奉仕へと広がり

ました。

いわゆるロータリーの奉仕の理想です。

どんなに優秀な人でもロータリーを知らなければロータリーの仕事は出来ません。いい仕事をしたい、いいロータリアンになりたい、と思えば必ず正しいロータリーを知ることが基本になります。

フランス革命時における3人の料理人の話があります。

自分たちの職務を述べてみよ、と言われたとき、最初の料理人は「ジャガイモを茹でるところです」とだけ答えました。2番目の料理人は「私は兵隊さんの食卓の面倒をみています」と答えました。3番目の料理人は「私は革命の手助けをしています」と答えました。

3番目の料理人は先見の目を持っていたのです。彼は自分のやっていることの先を見ていたので、なぜそれをやっているのか理解していたわけです。

本来ありふれた仕事であるものが、重要な意味を持つに至ったのです。

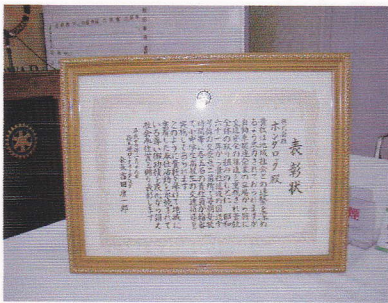
ロータリーには多くのなすべき仕事があり、そのうちいくつかは退屈なことです。それを屈せずやり通すには、その仕事をしているのは何故か、またそれをすることで、なにを成し遂げられるか、を常に念頭においておかなければなりません。

正しい先見の目があれば身近な問題に惑わされることはありません。

それがあれば、真に重要なものが何であるか見分けられ、本当に大切な事柄に努力を傾けることができます。

(プログラム委員長 山脇忍君の資料より)

佐土原RC社会奉仕賞
ホンダロックへ贈呈



吉田会長より、橋口総務部参与と能勢主任技師へ贈呈

当クラブを訪問された志多ガ
バナー補佐より挨拶を戴きまし
た。



シャム・ジョーダン氏



スピーチ中の、GSE経験もありインドRC会員シャム・ジョーダン氏と、バナー交換

☆Mr Shyam Jordan (ミスター シヤム ジョーダン)
よりのメッセージ

皆さんに英語にてお話いたしますが、何方か通訳していただけるといいのですが。
私は2年前、宮崎の県農業試験場に研修生として来て、その後国に帰り、道路等で生活をしている貧しく家庭の無い、両親が子供の教育費を出せない、教育をまともに受けられない子供たちの学校の園芸科主任として働いております。

その学校には農業部門があり、グリーンハウス(ビニルハウス)等の指導をしております。それらの援助の一部を宮崎国際ボランティアセンターから頂いております。

私は以前、GSEのメンバーとして、アメリカに行ったことがあります。今まで行った事のない国に行けたこと、そしてロータリーのお陰で国で少しでも貢献出来たことを感謝しています。ロータリーの奉仕の精神と自分がしている学校での活動とがボランティア精神に溢れているから、私はロータリーに魅了されました。

本日、バナーを交換致しました。このクラブのロータリアンの誰かがインドを訪れて下さる日をお待ち致します。本日は本当にありがとうございました。

平成13年度 県民ボランティア養成塾

国際協力講演 & ディスカッション(講演は英語、通訳あり)

「国際協力の現場から～地球で共に生きるために～」

“The report from Green House Project- from the view point of international cooperation”

第1部 国際協力の現場を知ろう

- 宮崎国際ボランティアセンターの活動について
- 講演

第2部 ディスカッション

- 理想の世の中って何だろう？
- 地球の将来を担う若者に何を期待するか？

◆ 講師 シヤム・ジョーダン氏

インド 西ベンガル州 カリンボン
ドクター・グラハムズ・ホームズ学校園芸科主任

日時・場所

平成14年1月13日(日) 13:30～16:00

宮崎市中央公民館 大研修室 宮崎市浄土江109

平成14年1月18日(金) 18:30～21:00

都城市中央公民館 視聴覚室

平成14年1月19日(土) 13:30～16:00

えびの市国際交流センター えびの市大字榎田388-1

入場料 無料



Mr. Shyam Jordan

1998年9月～1999年3月
県受け入れ海外技術研修生
として、宮崎で日本語、パイ
オやクローン技術を学ぶ。
現在ドクター・グラハムズ・
ホームズ学校園芸科におい
て花卉栽培の技術指導にあ
たる。